



一橋大学

ジェンダー教育プログラム

新学期を迎えて、どんな授業を取ろうか履修計画をたてながら心躍らせていることでしょう。ここではみなさんの授業選びの参考に、2007年度から一橋大学で始まったジェンダー教育プログラムのカリキュラムをご紹介します。

GenEPとは?

(Gender Education Programの略)

私たちの大学では、2005年度より「一橋大学における男女共同参画社会実現に向けた全学的教育プログラムの策定」(GenEP)プロジェクトが始まりました。これは、社会学部の教員が全学の教員と連携しながら、男女共同参画社会実現に向けた本学ならではのジェンダー教育プログラムの策定を目指した活動です。このGenEPプロジェクトの2年間の活動をへて、2007年度から新しいジェンダー教育のプログラムが始まりました。共学の大学として男子学生・女子学生が肩を並べて男女共同参画社会に向かう時代のトレンドを学び、相互の課題を受けとめあうことはとても大事なことです。昨年度は学部・大学院の科目をあわせて50科目が提供され、学部生だけでも約3700名が受講しました。将来さまざまな分野で活躍するであろうみなさんが、全学共通教育から学部・大学院科目まで体系的に組み込まれたこのジェンダー教育プログラムに積極的に参加されることを期待します。

ジェンダー社会科学研究センター内GenEP部門  
マーキュリータワー 6階 3617  
<http://www.gender.soc.hit-u.ac.jp/>

GenEPはジェンダー理論の学習を支援します。みなさんが男女共同参画社会の実現をめぐる問題に気づき、解決に必要な知識、能力、手法を身につけるためのカリキュラムを提供します。GenEPの道案内を頼りに、自らの関心をおおいに生かして、それぞれ自分のジェンダー教育プログラムを組み立て、授業を履修してください。

目指すゴールは...

- ジェンダーや男女共同参画にかかわる基礎的知識を身につけ、その理念と方法を体系的に修得する
- さまざまな専門領域にジェンダーの視点を積極的に導入し、市民社会を解明する視座を構築する

基幹科目群

ジェンダーを授業の主軸とする科目群。導入的科目から発展的科目へという積み上げ式の履修です。ジェンダーや男女共同参画にかかわる基礎的素養を身につけることを第一の目標にしています。さらに発展レベルでは独創的かつ先端的な研究の基礎となる理論や方法、当該研究分野に関する包括的な知見の修得をめざします。

連携科目群

ジェンダーがとりあげられる学際的な科目群。基幹科目群、および全学的な教育活動と連携しています。既存の社会科学・人文科学の枠組み・体系をジェンダーの視点から問い直していきます。

履修のツボ

緩やかなスロープ? 連携?

積み上げ式の基幹科目群と学際的な連携科目群の二つの科目群を相補的に履修することができます。全学共通教育、学部教育から大学院修士・博士後期課程の教育にいたるまで、緩やかなスロープを上るように学んでいけるカリキュラムがつけられています。

キャリアデザイン?

ジェンダーや男女共同参画についての素養は、自分自身の価値を高め、将来像を思い描くことを助け、みなさんが市民社会や企業において構想力を発揮していくための力となるはずで。

労働・経営・ジェンダー?

2005年に行われた「一橋大学における男女共同参画に関する学生の意識・実態調査」で多くの学生から受講希望のあった「労働とジェンダー」、「経営とジェンダー」をテーマとした講義が新設されています。ジェンダーをより身近にとらえ、自らのキャリアデザインを具体的に描いてみてください。

新しい社会科学?

それぞれの専門的知見を深め研究を進展させていくなかで、ジェンダーの視点から既存の社会科学のディシプリンに揺さぶりをかけ、新しい社会科学の地平を拓くことをめざしています。

履修者の声

そうだったのかと気付いた。進路を考える際、「女性の働く環境」というのも、自分の中にも「女性の働く環境」ということをより意識して考えるようになった。やっぱり差別的な感情はある程度あって、それを言い当ててもらった感じがしたからだと思う。

未知の世界を見せてもらった。もっと相手のことを知りたいと思った。

知らないうちに自分も「男とはこうあるべき」という考えを持っていたことに気付いた。

学内リンク

一橋大学には、学生生活で困ったこと、悩んでいること、就職のこと、なんでも相談できる場所があります。

学生支援センター <http://www.hit-u.ac.jp/shien/counseling/shien.html>

■学生相談室 本館1階 「いまここ」HP <http://www.hit-u.ac.jp/soudan/counseling/index.htm>

■キャリア支援室 本館1階

■キャンパスライフ相談室 第1講義棟1階東側

セクシュアル・ハラスメントガイドライン

<http://www.hit-u.ac.jp/sekuhara/guideline.htm>

相手の望まない性的な言動やジェンダー(性別)役割を押しつけることはセクシュアル・ハラスメントになります。一橋大学はその防止と排除のための措置、また問題が生じた場合の適切な措置のためのガイドラインを定めています。

## 学部 基幹 科目 群

### ヒューマンセクソロジー

【共通/夏一火2】

村瀬幸浩

男女が互いに人権を尊重しつつ手を携えて生きる社会の実現について、性(Sexuality)の分野に引き寄せて考えます。青年期の性的教養としての性の生理、エイズ・性感染症などの性の病理を学び直すとともに、性の多様性、性の暴力など、「人権」としての性を追求します。

### 男女共同参画社会のキャリアデザイン

【共通/夏一木4】

西山昭彦/オムニバス(如水会講師)

人材のダイバーシティ、男女共同参画、ワークライフバランスなど、新たな社会的トレンドの背景と具体的な実践例を学ぶ場を提供します。企業で活躍する本学卒業生、官界で男女共同参画に携わる方々、経営トップの方々によるオムニバスです。

### ジェンダーから世界を読む

【共通/冬一水2】

三浦玲一

さまざまな時代、地域、言語文化を専門とする講師陣が、「ジェンダー」という視点を共有して、「世界」のありようを多角的に読み解くリレー講義です。いろいろな言語文化のなかのジェンダーを読み解いていきます。

### ジェンダーと心理学

【共通/冬一水2】

柘植道子

ジェンダーにまつわる問題を心理学の視点からアプローチします。性とジェンダー、性的指向、性自認、セクシュアル・マイノリティ、ジェンダー・ステレオタイプ、ジェンダー役割負担、性役割態度、男女差、ジェンダーとメンタルヘルスなどのトピックを扱います。

### ジェンダーと社会

【社・基礎/夏一火3】

佐藤文香

ジェンダー研究の基礎概念をおさえた上で、家族・労働・性愛・暴力などのテーマごとにジェンダー視角から社会へとアプローチする方法を学んでいきます。

### ジェンダー論

【社・発展\*/夏一火5】

佐藤文香

ケア・国家・軍隊・ポルノグラフィ・法など、ジェンダー関係の再編をめぐってフェミニズムの中に蓄積されてきたいくつかの争点を、理論的立場の相違として考察していきます。

### 家族社会学

【社・発展/夏一木3】

木本喜美子

現代家族がかかえる問題を明らかにするために、家族の歴史変動過程を重視し、その把握と解析方法をめぐって理論的立場を異にする見解に検討を加えていきます。ジェンダー・アプローチが焦点となります。

## 学部 連携 科目 群

### 全学共通科目

頻度	曜日・時限	講義名	担当者
○	夏一火3	教養ゼミナール	井川ちとせ
◎	夏一火4	英語圏地域文化論(イギリス)	吉野 由利
○	夏・冬一水2	まちづくり(2011夏・冬)	林 大樹
○	夏一木2	中国の言語と文化	洪 郁如
○	夏一木4	教育と経済 I	松塚ゆかり
○	夏一金4	中国文学論	星名 宏修
○	冬一火3	政治と社会	中北 浩爾

### 学 部

頻度	学部・区分	曜日・時限	講義名	担当者
○	商・発展	冬一月4	消費文化論	越智 博美
○	経・基礎	夏一火・金1	基礎ミクロ経済学	竹内 幹
○	経・発展	冬一月・木3	労働経済学	川口 大司
○	経・発展*	冬一月・水1	公共経済学	竹内 幹
○	法・基礎	冬一月・水2	憲法第1	只野 雅人
◎	法・基礎	冬一火4	地域交流ネットワーク論	吉野 由利
★	社・導入	夏一火4	社会研究入門ゼミ	佐藤 文香
○	社・導入	冬一月4	社会研究入門ゼミ	森村 敏己
◎	社・導入	冬一木2	社会研究入門ゼミ	伊藤 るり
◎	社・基礎	夏一火2	アメリカ社会史総論	貴堂 嘉之
○	社・基礎	夏一木2	ヨーロッパ社会史総論	阪西 紀子
○	社・基礎	夏一木4	社会調査論	小林多寿子
◎	社・基礎	夏一金3	市民社会論	高田 一夫
○	社・基礎	冬一月3	スポーツ社会学の基礎	坂なつこ/坂上康博/鈴木直文
○	社・基礎	冬一水2	社会学理論	多田 治
○	社・基礎	冬一水2	社会調査法II	町村 敬志
○	社・基礎	冬一木2	政治学	田中 拓道
○	社・基礎	冬一木3	Social Sciences in English A	佐藤 裕
○	社・基礎	冬一金2	人間環境論	林 大樹
◎	社・発展	夏一月2	国際社会学 I	伊藤 るり
○	社・発展	夏一水2	比較政治	田中 拓道
○	社・発展	夏一木1	国際政治社会学	佐藤 裕
○	社・発展*	夏一金2	コミュニティ政策論	林 大樹
○	社・発展*	夏一金3	環境教育学	関 啓子
★	社・発展*	冬一木3	社会調査特問	木本喜美子
◎	社・発展*	冬一金3	社会文化論原典講読	洪 郁如
○	社・発展*	冬一金3	福祉社会論	高田 一夫

<講義におけるジェンダー関連の問題を取り上げる目安>

★：講義全体をジェンダーの視点から構成する

◎：ジェンダーを講義の一つの柱とする

○：ジェンダーについて1、2回取り上げる

※は学部・大学院共修。

委細は各授業のオリエンテーションで確認してください。また履修登録の際には、学習計画ガイドブック(学部) / 学生便覧講義要項(大学院)に従ってください。

## 大学院

### ◆基幹科目◆

### 社会科学のなかのジェンダー

【夏一木2】

貴堂嘉之・佐藤文香

コーディネーターによるジェンダー社会科学の学際的方法についての講義に加え、2010年に刊行した先端課題研究の成果である『ジェンダーと社会—男性史・軍隊・セクシュアリティ』のテキスト講読を行います。

### 社会学/地球市民とジェンダー

【夏一金2】

木本喜美子

ジェンダー視点を生かした社会学的実証研究に関する英語文献をとりあげ、これを読解します。男性性の形成・変容過程をライフヒストリーをもとに分析した文献をもとに、女性性の変容にも目配りした議論をしていきたいと考えます。

### 平和とジェンダー/社会学

【夏一木4】

佐藤文香

ジェンダー研究の洋書講読を行います。2011年度はフェミニスト国際関係論のsecurity studies の成果に学ぶことで、平和に対するアプローチの独自性や課題について考察していきます。

### ◆連携科目◆

頻度	学部・区分	曜日・時限	講義名	担当者
○	法	夏一金4	国際人権法	村岡 啓一
◎	法	夏一火3	交渉文化論特殊問題第一	吉野 由利
◎	社	夏一火4	アジア思想史	坂元ひろ子
◎	社	夏一水2	トラウマと地球社会	宮地 尚子
◎	社	夏一木2	国際社会学特論	伊藤 るり
○	社	夏一金2	社会調査 I	小林多寿子
○	社	冬一月3	地球市民の形成	関 啓子
◎	社	冬一火4	アジア社会史 II (近現代)	坂元ひろ子
◎	社	冬一水2	地球社会と生命	宮地 尚子
◎	言社	冬一木2	言語文化論系基礎講義	中井亜佐子